

日本災害情報学会第32回学会大会（2025年度、春季）に参加しました （2026/3/14～3/15）

場所：東京大学 法学政治学系総合教育棟（ガラス棟）
参加者：星美沙希（M1）

令和8年3月14日（土）～3月15日（日）の2日間、東京大学で日本災害情報学会の第32回学会大会が開催されました。日本災害情報学会は、「災害情報」をキーワードに、防災・減災に役立つ災害情報や、その伝達・受容のあり方などを調査・研究する学会です。当研究室からは1件の研究発表を行いました。また、今回の発表で星（M1）が優秀発表賞（口頭発表部門）を受賞いたしました。同賞は、優れた発表（原則40歳未満の筆頭著者が対象）に対して贈られる賞で、今回は合計10名が選出されました。なお、前回の学会大会にて「4Kライブカメラ映像への物体検出アルゴリズム適用による津波発生時における海水浴客数自動推計手法の検証」と題して口頭発表を行った成田（D2）も優秀発表賞（口頭発表部門）に内定しており、今回の学会大会で受賞いたしました。

【発表題目】（下線は当研究室メンバー）

- 星美沙希、佐藤翔輔、今村文彦：青森県八戸市の住民を対象とした徒歩避難促進における「ナッジ」の利用可能性の検討 **優秀発表賞**



星（M1）の受賞時の様子



成田（D2、前回大会で受賞内定）の受賞時の様子

（文責：星美沙希）